

会計課の経営方針の総括

1. 会計課の方針・重点課題の総括

●会計課の方針

歳入歳出予算の適正な執行を確保することを基本に、公正で正確な会計事務の推進と、公金の確実な保管並びに効率的な運用を行う。

●会計課の経営資源

【会計課】

- ・職員数（平成 23 年 3 月 31 日現在）
会計管理者 1 人 会計課 4 人
会計課職員計 5 人（うち常勤・非常勤嘱託職員数 0 人）
職員比率（正規職員）1.2 %（会計課 5 人/市職員 427 人）
- ・決算額（平成 22 年度）
一般会計 32,245 千円

●会計課の重点課題

- ・公正で正確な会計事務の推進
予算の受入や支払に関する調書等を厳正に審査確認し、適正で正確な会計事務を推進する。
- ・公金の管理と運営
資金管理運用方針並びに運用基準に基づき、公金の安全性を重視した効率的な資金運用を行う。

【総括】

日常の会計事務において、厳正な審査ときめ細かな指導を行うことで、正確で効率的な会計事務の実現に努めた。

公金の管理運用において、資金管理運用委員会に諮りながら債権を中心に安全で効率的な運用を行い、基金の平均利回り 0.78%を達成した。

2. 会計課の目標の達成状況

(1)財政基盤の強化

- ・会計事務の適正化、効率化を図るため、関係職員の研修会の実施や情報提供等を計画的に行う。また、資金管理計画に基づき、金融情勢等の把握に努め、より効率的な資金運用を行い、基金の平均利回り 0.6%を確保する。
- ・軽自動車税のコンビニ収納開始に伴う納税者の反応、事務処理等の状況を検証し、今後の適応税目等について、関係各課と協議する。

【達成状況】

財務事務研修会（11 月）、情報提供（随時）を行い、会計事務の適正化と効率化を進めた。また、安全で効率的な資金運用を行い、基金の平均利回り 0.78%を達成した。

軽自動車税のコンビニ収納では、納期内納付者の利用率は 31.9%にのぼり、平成 23 年度から他の市税等や介護保険料、住宅使用料、保育料についてもコンビニ収納実施を決定した。